

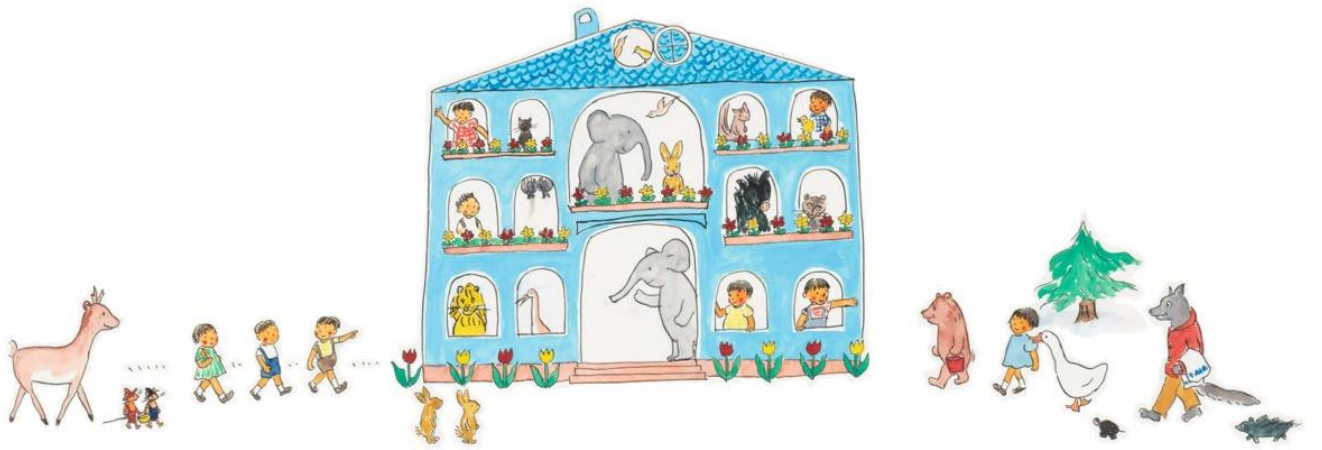
記者発表資料

令和5年3月23日

宮城県美術館 担当：菅野

bijutu-a@pref.miyagi.lg.jp 022-221-2113(学芸部直通)

また あう ひ まで。



山脇(大村)百合子《そらいろのたね》20-21頁原画 1964年

令和5年度 コレクション展示

リニューアル直前！

宮城県美術館の名品勢ぞろい！

From the Permanent Collection

宮城県美術館は、今年6月からリニューアル休館に入ります。休館前最後の展示となる本展では、1981(昭和56)年の開館から今日まで42年の歴史の中でコレクションとして収集され、この美術館を特色づけてきた数々の作品の中から、今見ておきたい選りすぐりの名品を展示します。

展覧会期 | 2023年4月19日[水]～6月18日[日]

※2023(令和5)年6月19日からリニューアルのため長期休館に入ります。

平素より宮城県美術館の活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

当館で4月19日(水)から開催のコレクション展「リニューアル直前！宮城県美術館の名品勢ぞろい！」についてご案内いたします。長期休館前最後の展示です。ぜひ貴メディアにて取り上げ、報道・周知していただきたく、お願い申し上げます。

なお、広報用画像のご使用を希望される場合は、添付の用紙に必要事項を記入の上、当館宛にFAXまたはメールにてお申し込みください。

展示の内容

日本の近現代美術名作選

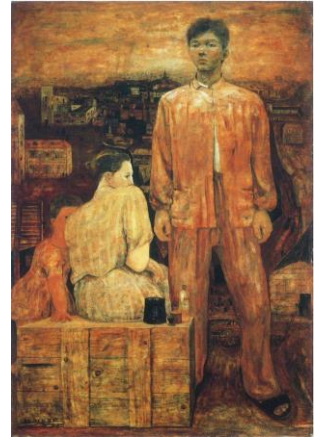
明治時代に日本の洋画黎明期を担った高橋由一から、大正・昭和期に古典の追究から新しい感覚の日本画を描いた安田靉彦、近年世界的な注目を集めている戦後のムーブメント「GUTAI（具体美術協会）」の中核・吉原治良の作品など、多彩なコレクションの中から日本の近現代美術約40点を展示します。萬鉄五郎や松本竣介、平福百穂など、美術の世界に確かな足跡を残した東北ゆかりの画家たちの作品も見逃せません。



1 高橋由一《宮城県庁門前図》1881年
宮城県指定重要文化財



2 鶴岡政男《人間気化》
1953年



3 松本竣介《画家の像》
1941年

洲之内コレクション 絵のなかの散歩、気まぐれ美術館の代表作から

現代画廊の画廊主でコレクターでもあった文筆家の洲之内徹。『芸術新潮』にエッセイ「気まぐれ美術館」を13年間連載し、その画家が有名無名であるかにかかわらず、心惹かれるまま本音で美術と向き合う姿勢は、多くのファンを呼びました。洲之内の手元に最後まで残された「洲之内コレクション」の中から、書籍『絵のなかの散歩』『気まぐれ美術館』に登場する名作たちをご覧ください。



4 長谷川潁二郎《猫》1966年
洲之内コレクション



5 巖谷小波《鳥》1942年頃
洲之内コレクション



6 萬鉄五郎《自画像》1915年
洲之内コレクション

ドイツ表現主義美術の名作 クレーとカンディンスキー

20世紀前半のドイツ美術を柱とした海外美術のコレクションも、宮城県美術館の特色です。中でもパウル・クレーとヴァシリー・カンディンスキー、表現主義を代表する二人の作品は、国内有数の質と量を備えています。今回はコレクションの中でも選りすぐりの代表作を並べて、二人の歩みを概観できる展示とします。



7 パウル・クレー
《橋の傍らの三軒の家》1922年



8 ヴァシリー・カンディンスキー
《商人たちの到着》1905年

佐藤忠良の彫刻の代表作 / 素描の世界

1990年に開館した佐藤忠良記念館では、宮城県生まれの彫刻家・佐藤忠良(1912-2011)の初期から晩年に至る代表作を常時展示しています。

日本の具象彫刻を牽引した佐藤忠良は、また絵の仕事でも活躍しました。今回の展示では、《群馬の人》、《帽子・夏》などの彫刻の代表作はもちろん、彫刻家の眼が感じられる人物デッサンや日常的にとったスケッチも充実させます。



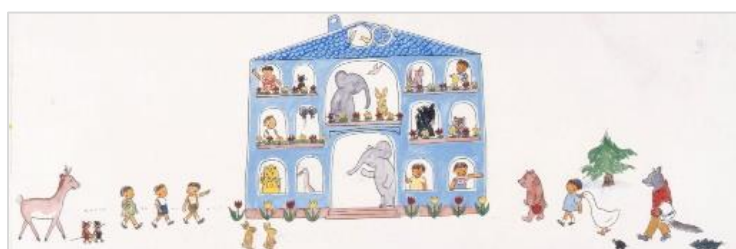
10 佐藤忠良《自画像》
1972年



11 佐藤忠良《帽子・夏》
1972年

ありがとう山脇百合子さん

月刊絵本「こどものとも」(福音館書店)の初期作品を中心とする絵本原画コレクション。その中でも最も多くの所蔵数を数えるのは山脇百合子さん(旧姓大村、1941-2022)の作品です。《いやいやえん》《そらいろのたね》《あひるのバーバちゃん》など、山脇さんの手から生まれた童話や絵本のイメージは、多くの読者の思い出に残っていることでしょう。通常より拡大した12タイトル約200点の展示によって、昨年逝去された山脇さんの歩みを振り返ります。



12 山脇(大村)百合子《そらいろのたね》20-21頁原画 1964年



13 山脇百合子《あひるのバーバちゃん》
30-31頁原画 1974年



14 山脇百合子
《ぐりとぐらかるた》
「あ」原画 1984年

開催概要

展覧会名：令和5年度コレクション展示「リニューアル直前！宮城県美術館の名品勢ぞろい！」

会期：2023年4月19日(水)～6月18日(日)

開館時間：9:30～17:00(発券は16:30まで)

休館日：毎週月曜日(5月1日は開館)

無料観覧日：5月5日(こどもの日)、5月18日(国際博物館の日)

料金：大人300(240)円、学生150(120)円、高校生以下無料

※()内は団体料金

※特別展「伊達政宗と杜の都・仙台—仙台市博物館の名品—」の観覧券でもご覧になれます。

主催：宮城県美術館

同時開催 | 特別展 | 第40回全国都市緑化仙台フェア開催記念「伊達政宗と杜の都・仙台—仙台市博物館の名品—」4月26日(水)～6月18日(日) ※特別展観覧券で、コレクション展示もご覧になれます。

関連イベント

学芸員によるギャラリー・トーク

- 4月22日(土) リニューアル直前！今見ておきたい山脇百合子
- 4月29日(土・祝) リニューアル直前！今見ておきたい佐藤忠良
- 5月6日(土) リニューアル直前！今見ておきたいGUTAIの作家たち
- 5月13日(土) リニューアル直前！今見ておきたいクレーとカンディンスキー
- 5月20日(土) リニューアル直前！今見ておきたい洲之内コレクション
- 5月27日(土) リニューアル直前！今見ておきたい日本の近現代美術
- 6月3日(土) リニューアル直前！今見ておきたい学芸員のおすすめ
- 6月10日(土) リニューアル直前！今見ておきたい山脇百合子
- 6月17日(土) リニューアル直前！今見ておきたい日本画を中心に

各回 11時～(30分程度) 会場：各展示室

定員：先着15名(10時半より本館1階展示室入口前で整理券を配布します)

※参加にはコレクション展ないし特別展の観覧券が必要です。

美術館講座 「日本画」とは何か。

第1回 5月21日(日) 『日本画』の誕生

講師：古田亮氏(東京藝術大学大学美術館教授)

第2回 5月28日(日) 戦後日本画という『日本画』の位相

講師：荒井経氏(東京藝術大学大学院教授・日本画家)

会場：講堂 各回14時～16時

定員：150名 ※要事前申込み。聴講無料。

申込み方法：美術館ウェブサイトの「申込みフォーム」
または往復はがき

美術館講座
申込みフォーム⇒



はがきの場合：1名様につき1枚の往復はがきに、聴講する回のタイトル/住所/氏名/電話番号をご記入の上、宮城県美術館「美術館講座係」(〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1)までお申し込みください。(開催日の5日前まで必着。)

まちなか美術講座

6月3日(土) ぐりとぐらの画家・山脇百合子の研究課題 講師：菅野仁美(当館学芸員)

13時30分～(90分程度)

会場：東北工業大学一番町ロビー(2Fホール)

定員50名 ※先着順。当日直接2Fホールへお越しください。聴講無料。

問合せ：東北工業大学一番町ロビー「まちなか美術館講座」係 電話：022-723-0538

みやぎ県民大学

6月17日(土) リニューアル直前！コレクションに見る時代の風(上)

6月18日(日) リニューアル直前！コレクションに見る時代の風(下)

講師：濱崎礼二(当館副館長)

会場：講堂 各回14時～15時30分

定員：150名 ※要事前申込み。聴講無料。

申込み方法：美術館ウェブサイトの「申込みフォーム」

または宮城県美術館教育普及部まで電話で申込み

みやぎ県民大学
申込みフォーム⇒



宮城県美術館教育普及部
電話：022-221-2114

※展示やイベントの内容に変更が生じることがあります。最新の情報は美術館ウェブサイト、Twitterでお知らせします。

展覧会に関するお問い合わせ先：[担当] 菅野

TEL：022-221-2111(代) FAX：022-221-2115 E-mail：kanno_hi374@pref.miyagi.lg.jp

宮城県美術館

作品画像使用申込書

令和5年度コレクション展示

リニューアル直前！

宮城県美術館の名品勢ぞろい！ 担当行

宮城県美術館 FAX：022-221-2115

作品画像の使用を希望する場合、下記の注意書きをお読みにになり、FAXにてお申し込みください。

- ・作品画像のご使用は、本展を紹介いただける場合に限りです。本展覧会終了後は使用できません。
- ・作品画像は必ず全図でご使用ください。トリミング、文字乗せ不可。
- ・掲載に当たっては、必ずキャプションをご記載ください。
- ・クレジット表記などの確認のため、校正段階で原稿をFAXもしくはメールにてお送りください。
- ・Web媒体については、画像・動画データを第三者が再利用できないよう、コピーガード措置を取った場合のみ使用可とさせていただきます。
- ・掲載物(誌、URL、DVD等)を1部ご送付くださいますようお願いいたします。

掲載希望画像	1	2	3※	4※	5	6	7
	8	9	10	11	12※	13	14
○で囲んでください。 ※印はおすすめの画像。							
貴社名							
所在地							
TEL				FAX			
e-mail							
媒体・番組名							
発行・放送予定日	月 日 (: ~ :)						
ご担当者							